



地域環境保全の取り組み

化学物質の管理

化学物質の使用にあたっては、法令などにに基づき適正に排出量・移動量を把握するとともに、有害化学物質が含まれない製品への代替化などを行っています。

石綿の計画的な除去

社有建物約4,200棟全数を対象とした調査を行い、計画的に石綿含有吹付け箇所の対策を行ってきました。2013年度末現在、未対策棟数は17棟であり、今後も計画的に対策を実施してまいります。

また、その他の石綿を含有した製品については通常状態において飛散性はないため、建物の撤去工事や設備の補修工事などの機会にあわせて順次、非石綿製品への取り替えを進めています。

特定化学物質の排出量・移動量の管理

PRTR (Pollutant Release and Transfer Register = 環境汚染物質排出移動登録) 制度は、事業者の自主的な排出削減を目的として、有害のおそれのある化学物質の環境中への排出量などについて、対象事業者が行政に報告し、行政が公表する制度です。

わが国では、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化学物質排出把握管理促進法)」が制定され、経済産業省および環境省から集計結果が公表されています。

当社は、発電所などで使用している化学物質について、法に基づき排出量などの把握および行政への報告を行うとともに、購入・使用・在庫量などを記録・把握し、適正な管理と環境への排出抑制に努めています。

◆ 特定化学物質の排出量・移動量(2013年度)

(単位: t/年)

名称(主な用途)	排出量 ^{*1}				移動量 ^{*1}
	大気	水域	土壌	埋立処分	
エチルベンゼン(塗料)	2	0	0	0	0
キシレン(発電用燃料, 塗装)	4.9	0	0	0	0
HCFC-22(空調機冷媒)	0	0	0	0	0
HCFC-225(ドライクリーニング)	2.4	0	0	0	0
ダイオキシン類(特定施設排水)	0	0.000031 ^{**2}	0	0	0
スチレン(塗料)	0	0	0	0	0
トルエン(発電用燃料, 塗料)	10	0	0	0	0
ヒドラジン(給水処理剤)	0.001	0.6	0	0	0.1
ノルマルヘキサン(発電用燃料)	1.3	0	0	0	0
ベンゼン(発電用燃料)	0.2	0	0	0	0
メチルナフタレン(発電用燃料)	0.5	0	0	0	0

※1: 法の届出対象を満たす事業所を対象に集計しました。

※2: ダイオキシン類は、ダイオキシン類対策特別措置法の特定施設に該当する施設からの排出量、移動量の合計値であり、単位を[t/年]から[mg-TEQ/年]と読み替えます。なお、排出・移動したダイオキシン類は、ダイオキシン類対策特別措置法で定める排出基準値以下です。

PCB 廃棄物の管理・無害化処理

当社は、保有する PCB 廃棄物について、関連法令に基づき適切に管理するとともに、無害化処理を推進しています。

高濃度 PCB

絶縁油に PCB を使用した変圧器やコンデンサなどについて、日本環境安全事業株式会社(JESCO)に処理委託しています。

◆ 高濃度 PCB 処理状況(2013年度末)

	変圧器・コンデンサ類
当初保有台数	約 1,200 台
累計処理台数	約 980 台
搬出開始	2008年9月

低濃度 PCB

ごく微量の PCB が混入した柱上変圧器およびその絶縁油について、当社の酒田リサイクルセンターで無害化処理を進めています。

なお、処理した変圧器本体は鉄・銅原料などとして、絶縁油は燃料などに再利用しています。

◆ 低濃度 PCB 処理状況(2013年度末)

	柱上変圧器	絶縁油
当初保有量	約 66 万台	約 3.0 万 kℓ
累計処理量	約 54 万台	約 2.4 万 kℓ
処理開始	2008年1月	2007年4月



酒田リサイクルセンター(山形県酒田市)